

関係者各位

青葉が目まぶしいこの頃、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターの児童思春期病棟では、新型コロナウイルス感染症に伴って停止しておりました「ひかりの森合宿入院プロジェクト」を再開し、加えて新たに「ネット依存プロジェクト」を行うことと致しました。

この「ネット依存プロジェクト」は、これまで行っておりましたゲームやスマホなどに影響された子どもたちの生活リズムの立て直しをはかる「ひかりの森合宿入院プロジェクト」を発展させて、ゲームやスマホに夜遅くまで時間を費やし、昼夜逆転になったり、親子関係が不調になったりする子どもたちのゲームやネットとの距離を見直すことを目的に行うものです。入院希望をしている「中学生から20歳未満」の方を対象に、児童思春期病棟でプログラムを行なう新たな取り組みとなります。

またこれまでと同様に「ひかりの森合宿入院」は、不登校やひきこもり状態にある中学生の子どもたちが、病棟での集団生活を送り、その中で仲間づくりを体験して社会に戻っていくことを目指すものです。対象は自分で入院を決めることのできる中学生を対象としています。これらの児童思春期病棟への入院を通じて行う取り組みについての案内文を作成しましたので同封致します。プログラムなどの内容につきましては、当センター地域医療連携部 児童担当相談員までお問合せ下さい。

また、外来療育（発達に特徴のある小中学生を主な対象として、生活のしづらさや集団へのなじみにくさ、学習の困難など、抱えるなやみを軽減するための支援を行うための個別プログラムです。現在、集団プログラムは新型コロナウイルス感染症対応中につきお休みさせて頂いています）など児童思春期の子どもたち向けの特色ある治療プログラムを当センターでは提供しております。これらの情報はホームページからもご覧になれます。[\(http://hmhc.jp/\)](http://hmhc.jp/)。

当センターでは、迅速に診療が出来るように児童思春期外来体制を見直して、診療までの待機時間の削減を行っております。とくに地域の医療機関の先生方とは「子どものこころの診療ネットワーク」事業を立ち上げ、急な受診に対応できるように、また当院での診療後には地域に速やかにお戻りいただけるような体制整備を行いました。

これら新たな取り組みを行いつつ、新しい気持ちでより地域の皆様にお役に立てる病院になれるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年5月
兵庫県立ひょうごこころの医療センター
院長 田中 究

ひかりの森合宿入院

in

兵庫県立ひょうごこころの医療センター

コロナ禍で中止していた、不登校や生活リズムの立て直しを
目的とした【ひかりの森合宿入院】を再開します

- 対象: 中学生で、ご本人が合宿入院への参加を希望される方
- 目的: 生活リズムの調整、学校参加、集団生活の体験
※入院中は、兵庫県立上野ヶ原特別支援学校ひかりの森分教室へ転籍となります
- プログラム: レクリエーション、SST、作業療法 など
- 期間: 2～3か月
- 費用: 健康保険が適用されます(生活用品などは実費負担)

お問い合わせ

学校にいきづらい、朝
起きれないなど一緒に
考えてみませんか？

兵庫県立ひょうごこころの医療センター
地域医療連携部 児童担当相談員まで

TEL: 078(581)1013